

令和7年度 東北そば研究会 開催要領

1 趣 旨

東北地域は、そばの作付面積が18,600ha（令和6年産）で、北海道に次ぐ国内有数の産地となっている。

そばは湿害に極めて弱い作物であり、近年の異常気象による高温や豪雨の影響で、単収が不安定な状況となっており、ほ場の排水性改善や多収性・高温抵抗性品種の開発が喫緊の課題である。

また、そばは水田の転作作物として栽培面積が増加傾向にあり、さらなるそば産地の振興を図るためには、生産の安定化、実需者のニーズに沿った品質・ロットの確保などにより経営の安定化を図ることが重要である。

本会は、そばに関する講演、情勢報告及び意見交換を通して、東北地域におけるそば栽培の課題解決、そば産地の振興の一助となるよう開催する。

2 開催日時

令和8年1月22日（木） 13:30～16:00

3 開催方法

Web 会議システム：Teams を使用

4 内 容

（1）基調報告等

- ・そばの高温対策にかかる作期移動による対策と品種育成等
（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
暖地水田輪作研究領域 グループ長補佐 鈴木 達郎 氏
- ・上記にかかる北農研における取組紹介等
（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター
寒地畑作研究領域 主席研究員 石黒 浩二 氏

（2）東北管内における事例紹介（そばの安定生産・安定供給等）

- ・秋田県におけるソバ生産振興の取り組み
農業生産法人株式会社 そば研 代表取締役 藤原 洋介 氏
- ・西川町における有機栽培そば増収に向けた取組について
山形県村山総合支庁産業経済部西村山農業技術普及課
普及指導員 遠藤 祐 氏

（3）情勢報告

- ①そばをめぐる状況について
東北農政局生産部園芸特産課
- ②各県のそば振興の現状と課題等について
各県担当者

（4）情報・意見交換

5 参集範囲

東北各県の行政機関、普及指導機関、公設試験研究機関、生産者、実需者、その他

6 主 催

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター
農林水産省東北農政局生産部園芸特産課

7 参加申込

(1) 申込方法

- ・参加を希望される方は、インターネットにてお申込みください。
以下の URL から、「参加申込フォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。
〈参加申込フォーム〉
<https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/tokusan/R7sobaken.html>
- ・東北農政局のホームページからは、以下のとおり入っていきますと「参加申込フォーム」があります。
トップページ→政策情報→農業生産→東北のそば→「令和7年度東北そば研究会」
(令和8年1月22日開催) の概要

(2) 申込締切

令和8年1月9日(金) 17時00分

(3) 留意事項

オンラインでの参加

- ・参加者ご自身のパソコンやスマートフォン等を用いた参加となります。
事前に Teams を利用できる環境の準備をお願いします。
- ・アプリケーションのダウンロードや参加中の通信料は参加者の負担となります。
- ・「招待 URL」を他者へ教える等の行為は行わないでください。

8 連絡先

東北農政局生産部園芸特産課 阿部
〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目3番1号仙台合同庁舎A棟
電話：022-263-1111 (内線 4545)